

第3回 お出かけ今昔館 ～ 金剛家と四天王寺

聖徳太子は四天王寺創建のために百済から3人の造寺工を招聘しました。

そのうちの一人、金剛重光を始祖とするのが「世界最古の企業」として知られる金剛組です。

千四百年以上にわたり四天王寺さんを護り続ける金剛家・金剛組には、修復・再建工事に関わる図面、書状や由緒書などの貴重な史料が数多く残されています。大阪市無形民俗文化財に指定され、四天王寺さんの年中行事にもなっている手斧始式で使用する道具や装束なども所有されています。

大坂冬の陣の戦火に巻き込まれて焼失した伽藍の再建(元和の再建)当時の書状も現存しており、その再建で中心的な役割を果たした中井家の書状は、「大阪くらしの今昔館」に収蔵されています。

第3回 お出かけ今昔館では、金剛組を会場に、これらの貴重な史料を鑑賞後、四天王寺さんを探検し、千四百年以上にわたり金剛組が紡いできた歴史を体感します。

2025年11月29日(日) 13:30～17:00(受付開始13:00)

参加
無料

小雨決行
荒天中止

会場 株式会社 金剛組 大阪本店



大阪市天王寺区四天王寺1-14-29
「四天王寺前夕陽丘駅」4番出口より徒歩3分

定員 20名 ※応募多数の場合は抽選

参加費 無料

申込方法 QRコードまたは
URLよりアクセス



<https://x.gd/7bXMe>

申込締切 2025年11月12日(水) 17:00

当日の流れ(イメージ)

13:00～ 受付

13:30～ 四天王寺の建築文化についての解説
金剛組の歴史、所蔵品についての解説

15:00～ 展示品(所蔵史料等)を鑑賞

15:30～ 四天王寺さんを探検



16:30～ 感想を語り合う (17:00ごろ解散)

※先着順ではありません。後日、登録いただいたメールアドレス宛にご連絡いたします。歩きやすい服装でお越しください。飲み物は各自ご持参ください。

〈案内人〉谷 直樹



1948年生まれ。
大阪市立大学名誉教授。
日本建築史、生活文化史、
博物館学が専門。
開館から2021年3月までの20年間、
大阪くらしの今昔館館長を務めた

〈案内人〉木本 久晴



1981年生まれ。
広島県出身。
近畿大学大学院日本建築史専攻。
2007年 金剛組入社。西大寺牛玉所
殿大修復事業などを手がける。
企画設計部長

(今昔館館長) 増井 正哉



1955年生まれ。
京都大学・奈良女子大学
名誉教授。
都市史、歴史遺産の保存・活用が専門
2021年4月～大阪くらしの今昔館館長

共催：大阪くらしの今昔館、大阪ガスネットワーク(株) エネルギー・文化研究所(CEL)

包括連携協定に基づく
共催事業になります。

協力：株式会社 金剛組 (創業 飛鳥時代 西暦578年)

問合せ：大阪ガスネットワーク(株) エネルギー・文化研究所 担当 小西 TEL:06-6205-2366 (平日9:00～17:00)